



~JA事業紹介編~ まんが:じっく

第93話 ~厚生事業より~ 健康増進も大切なお仕事です

主人公の一ノ瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話を聞きながら、将来の自分を見つめます。一日人間ドックの利用者は、県内で当JA管内の方が最多で、皆さんの健康志向がうかがえます。より高度な専門ドックもありますので受診してはいかがでしょうか。

脳ドック

脳梗塞、脳動脈瘤などの早期発見へ



肺ドック

肺がん、肺気腫
肺炎の早期発見



※3種類から組み合わせて受診いただくと
さらにお得になります!

心臓ドック

心筋梗塞、狭心症などを
早期発見。動脈硬化の進行の予測もできる



J A岩手県厚生連の
人間ドックセンターでは
3種類を受診できるの

しかも専門ドックは

組合員とその家族は
JAの助成が付いて
少しお得になるわ

病院で受診
するのも
いいけど
JAが推進する年1回の
送迎・昼食つき専門ドック

今年は専門ドックを
受診しようかな

おいしい昼食も付くし
地産地消食材を使った

なるほどね!

専門ドックを2~3年
おきに受診しておけば
大病を未然に防げる
可能性があるわ

毎年の健康診断や
人間ドックを受診しつつ

人間ドックセンターへの移動
は各地区の當農經濟センター
から厚生連が送迎するから
眠っていても大丈夫よ!



そうなんだ!
ますますJAが
身近に感じたよ

そこでJAは地域医療を良く
しようと病院・診療所を設置・運営したり
健康診断や保健指導に取り組んだのが
JA厚生事業のはじまりなのよ

良かっただわ

お姉ちゃん!
JAはなぜそんなに
組合員の健康増進に
力を入れているの?

JAの専門ドックは
年々受診者が増えている
毎回定員は早い者勝ちで
埋まってゆくから早めに
予約を入れてね

チラシが来たら
すぐ予約するよ!

現在ではどこに住んでいても
恵まれた医療を受けられるけど
向けてくれるなんて
うれしい限りだわ!

昔の農山村地域は医療体制が弱く
農作業をするときに発生しやすい
病気や農業の機械化に伴う労働災害に
苦労していたの

そこにギモンを
向けてくるなんて
うれしい限りだわ!

農業協同組合だよね?!

